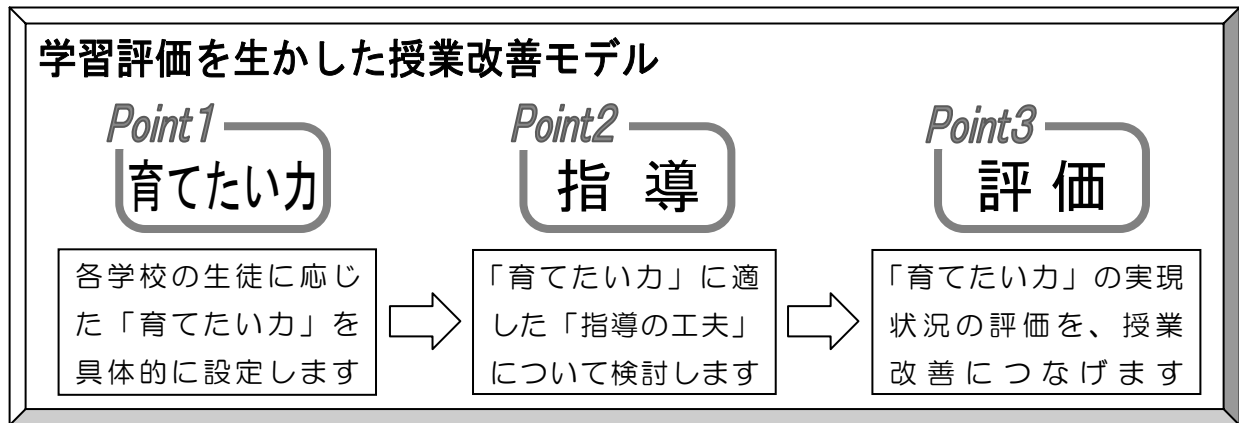


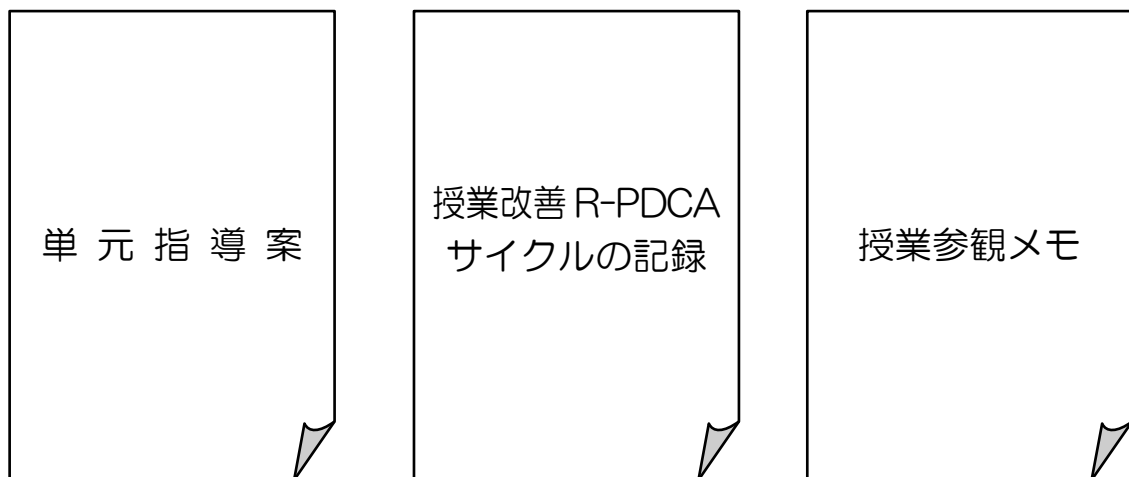
ま と め

このガイドブックは、各学校における授業改善の推進を図ることを目的としています。授業改善に取り組む手法の一つとして、「学習評価を生かした授業改善モデル」を提案し、実践校である神奈川県立七里ガ浜高等学校の実践事例を踏まえ、「育てたい力・指導・評価」の三つのポイントを押さえてきました。



それぞれのポイントについて、第2章の10～24ページ及び第3章の36～65ページに示された取組事例を参考にして、各学校の状況に合わせた授業改善の取組みに生かしてください。

また、このガイドブックでは、第2章（31～33ページ）で三つの授業改善ツールを紹介しました。



これらの授業改善ツールは実践校でも活用し、「単元指導案」と「授業改善 R-PDCA サイクルの記録」については5教科での使用例も第3章（36～65ページ）に掲載してあります。

授業改善の R-PDCA サイクルにおいて、授業改善に生かす際に C (Check) と A (Action) の段階はとても重要です。評価結果を同じ単元の中の次の時間の授業、次の異なる単元に進んだときの授業、次の年に今回と同じ単元を扱う授業などに、どのように生かしていくかははっきりさせておく必要があるからです。さらに、それらの検討に際しては、授業者個人で行わず、教科会等で組織的に検討を行い、幅広い意見を集約することで、より充実した授業づくりを促すことができます。そして、検討結果を組織で共有することは、授業づくりにかかる教員の負担を軽減して効率化を図るとともに、教科・科目全体で質の高い授業をつくり出すことができます。

そのためにも、研究授業等の事後に行われる検討会において、授業改善ツール「授業改善 R-PDCA サイクルの記録」の「修正方針」(Action 部分)について、協議を充実させていくことが授業改善の鍵とも言えます。

授業改善 R-PDCA サイクルの記録		Check 事後
Research 事前 把握した課題とその解決策の検討 把握した課題 ○安全に留意して、正しい手順で実験を行うことについて継続的に指導する必要がある。 ○単体を観察する機会が少なく、それらの特徴や性質の知識は体験を伴わないものである。 ○思考・判断を伴う課題に苦手意識をもっている。 解決策 ○生徒に実験操作を行わせる場面を用意する。 ○実際に塩素の発生場面の演示実験やハロゲン単体の特徴と性質を確認できる動画を観察させる。 ○思考・判断・表現させる場面を増やす。		生徒の学習評価と教科指導の評価の検討 学習評価 ○90%以上の班が注意を守って実験していたことを、実験操作の点検により確認できた。 ○ワークシートの自由記述を確認したところ、演示やVTRで観察した塩素・臭素・ヨウ素3種のハロゲンの特徴と性質を記述した生徒が52%と半数を超えていた。塩素、臭素のいずれかの記述をした生徒を合わせると約73%の生徒が評価規程にほぼ達していると判断できる。 ○ほとんどの生徒が酸化力の関係を正しく比較できていた。また、判断理由の記述を書けた生徒65%のうち、実験の結果を踏まえて記述できた生徒は29%であった。ほとんどの生徒が実験結果から考察していたものと思われるが、その理由を自由記述で書く力が不足していると判断した。 教科指導の評価 ○安全に正しく実験を行うことについては、演示実験で塩素の臭いを体験させたことの効果が十分に発揮されていたと考えられる。 ○中間試験において、ハロゲン元素の性質を問う問題を出題したところ、臭素、ヨウ素の性質については正答率が90%を超える高い結果が得られた。 ○ワークシートの記述において、塩素の単体をハロゲン化カリウムに作用させた実験1では、90%以上の生徒が酸化力を正しく比較できた。
Plan 事前 単元指導計画を踏まえた育てたい力とそのために必要な学習活動の検討 育てたい力 ○安全に正しく実験を行うことのできる技能 ○塩素、臭素の単体の特徴と性質を的確に表現する力 ○観察の結果を踏まえ、塩素、臭素、ヨウ素の酸化力の大小を考察する力 学習活動 ○実験操作を行う。 ○塩素、臭素の生成の様子を観察させる場面では、見るべき視点を確認しておくとともに、全員の生徒がきちんと見えように配慮する。 ○実験結果を基に、酸化力の大きな順に三つの元素を並べ替え、その理由を記述する。		改善を必要とする点と学習指導の修正方針の検討 改善を必要とする点 ○実験操作の点検については、ただ机間を巡回して確認したというだけでなく、点検の証拠が残るものが必要。項目によっては、自己評価を全面的に信頼できないことがある。 ○演示やVTRを見せながら、ハロゲンの特徴をまとめたスライドを短時間流すだけでは、生徒の記憶に長く止まり、それを知識とすることは困難である。 ○ほとんどの生徒が、実験結果からハロゲンの酸化力を正しく比較していると思われるが、その理由を自分の言葉で記述する能力が不足している。 修正方針 ○行動の観察の点検については、授業者が机間巡回中に容易に行えるワークシートを作成する。 ○元素の特徴や性質については、演示とVTRを見て観察する時間を実験の実施前に別途設け、自由記述ではなく、ワークシート上に臭い・色・性質・主な反応等の項目を明確に示した表を作成し、十分な時間を確保して生徒に記入させる。また、そうすることで、結果の記述と考察に使える時間を増やす。 ○ワークシートのハロゲンの酸化力の判断の理由については、自由記述ではなく、「実験()の()の結果により判断」のように、簡単に記述できるものに変更する。
Do 事後 指導の準備と評価の方法・場面の検討 指導の準備 ○発生する塩素を吸い込むと危険であることを生徒に確認しておく。 ○塩素、臭素の生成の様子を観察させる場面では、見るべき視点を確認しておくとともに、全員の生徒がきちんと見えように配慮する。 ○酸化力の大小を判断した理由を記述できるようなワークシートを用意する。 評価の方法・評価の場面 ○実験操作〔行動の観察の点検〕 ○塩素、臭素の生成の特徴や性質〔ワークシートの記述の確認〕 ○酸化力の大小を判断した理由〔ワークシートの記述の分析〕		
Action 事後 改善を必要とする点と学習指導の修正方針の検討 … 「授業者」に関するだけでなく、「ほかの先生の授業」や「教科全体」の視点も併せて		

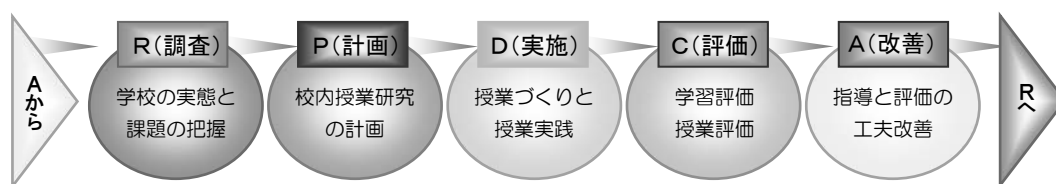
そして、検討に際しては、研究授業の担当者がどう改善に生かすのかという視点だけでなく、協議会の参加者それぞれが行う授業にどう生かしていくかという視点も含め、協議するようにしましょう。

各学校において取り組む際には、こうした授業改善ツールを活用の上、「修正方針」の充実に向けた協議・検討を促進することで、「育てたい力」の実現を目指してください。

参考資料「アンケート調査」

生徒アンケート・教員アンケート

授業改善に取り組む上で、アンケート調査結果は有用な資料となります。調査を実施する際には、どのような場面で、どのような資料を必要としているのかを明確にしておきます。調査の活用場面には、R-PDCA サイクルの「課題を把握する場面 (R)」や「変容を見とる場面 (C)」などが考えられます。



(神奈川県教育委員会 2013 「学習評価の手引き」 p.2 より)



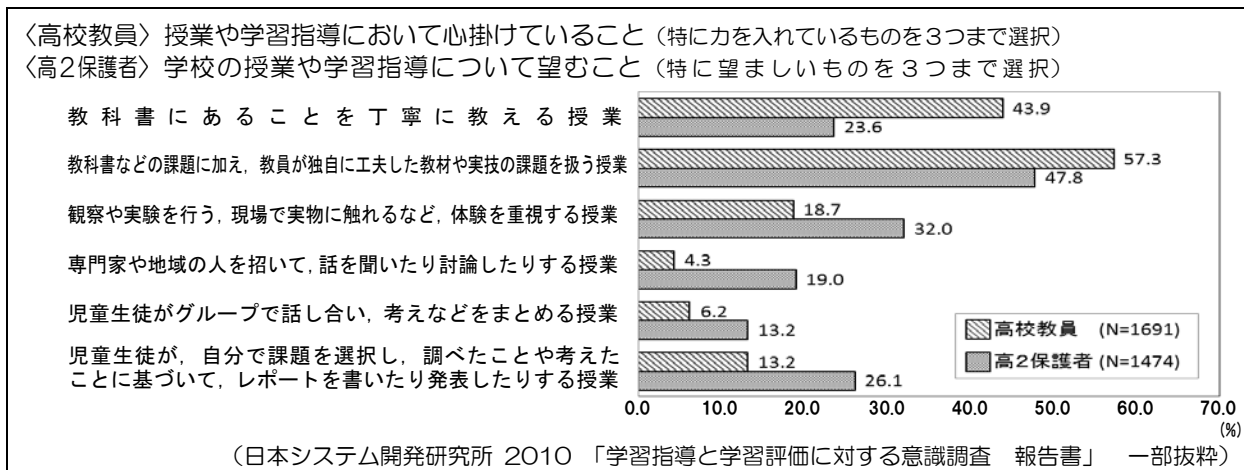
誰にアンケートを行うかによって得られる資料が異なります。生徒を対象とする調査として、全ての県立高等学校・中等教育学校で実施している「生徒による授業評価」がまずは挙げられると思います。また、授業者独自に作成したアンケートを、単元や年度の冒頭・終末の授業で実施し、生徒の学習状況を把握することもあります。

一方、教員をアンケート対象とすることも考えられます。学校が求める指導観を共有しているつもりでも、教員間で相違があったということはないでしょうか。授業改善に取り組む際には、教員集団がチームとして機能し、教育の方向性を共有することは大切です。



次ページ以降では、実践校で使用した「生徒アンケート」と「教員アンケート」の調査用紙を掲載していますので参考にしてください。ちなみに、これらのアンケートには、比較調査項目を取り入れており、生徒と教員の回答結果の差異を調査・分析することができます(78 ページ参照)。「生徒の視線」と「教員の視線」の両面から調査・分析することで課題把握に役立つと考えられます。

そのほかの調査対象者としては、保護者が考えられます。文部科学省委託調査として実施された「学習指導と学習評価に対する意識調査」の報告書(平成22年1月公表)には教員向けアンケートと保護者向けアンケートとの回答内容の比較が掲載されています。



(参考資料1)

学習に関する生徒アンケート

()年生 (男・女)

以下の[1]～[23]の質問について、当てはまる選択肢のカッコ内に○印を書き込んでください。

I 勉強について

[1] 勉強が好きですか。(1つ回答)

- 1 () 好きだ
- 2 () どちらかといえば、好きだ
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、好きではない
- 5 () 好きではない

[2] 勉強は大切だと思いますか。(1つ回答)

- 1 () そう思う
- 2 () どちらかといえば、そう思う
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、そう思わない
- 5 () そう思わない

[3] 勉強をすれば普段の生活や将来の自分のために役に立つと思いますか。(1つ回答)

- 1 () そう思う
- 2 () どちらかといえば、そう思う
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、そう思わない
- 5 () そう思わない

[4] 勉強しているときに、学習内容についてもっと知りたいと思うことがありますか。(1つ回答)

- 1 () よくある
- 2 () どちらかといえば、ある
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、ない
- 5 () ほとんどない

II 授業について

[5] 全般的に学校の授業が分かりますか。(1つ回答)

- 1 () よく分かる
- 2 () どちらかといえば、分かる
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、分からない
- 5 () ほとんど分からない

[6] 授業が分かると思うのは、どんなときですか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 新しい知識を覚えることができたとき
- 2 () 授業で習った問題がテストで解けたとき
- 3 () 学習内容を自分なりに整理してまとめられたとき
- 4 () 友だちに的確に説明できたとき
- 5 () 自分の考えを文章などで的確に書き表すことができたとき
- 6 () その他
- 7 () 特になし

(平成 24 年 12 月)

[7] 一般的に授業であなたの学習は充実していますか。(1つ回答)

- 1 () 充実している
- 2 () どちらかといえば、充実している
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、充実していない
- 5 () 充実していない

[8] 授業で充実していると感じるのは、どんなときですか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 先生が教科書の内容について説明したことがよく分かるとき
- 2 () 難しい問題の解き方を教わったとき
- 3 () 文章や図表などに示されている内容を読み取っているとき
- 4 () 自分の意見や考えなどを文章に書き表しているとき
- 5 () 与えられた課題についてグループで相談しているとき
- 6 () クラスやグループの中で発表しているとき
- 7 () その他
- 8 () 特になし

[9] 文章や図表などから、どのようなことが読み取れるか、一人でじっくりと考える学習は好きですか。
(1つ回答)

- 1 () 好きだ
- 2 () どちらかといえば、好きだ
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、好きではない
- 5 () 好きではない

[10] 自分の意見や考えたことなどを文章や図表に書いて表現する学習は好きですか。(1つ回答)

- 1 () 好きだ
- 2 () どちらかといえば、好きだ
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、好きではない
- 5 () 好きではない

[11] グループで話し合いながら学習内容の理解を深めていく学習は好きですか。(1つ回答)

- 1 () 好きだ
- 2 () どちらかといえば、好きだ
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、好きではない
- 5 () 好きではない

[12] 自分の意見やグループで話し合ったことを発表することで、いろいろな考えを学ぶ学習は好きですか。(1つ回答)

- 1 () 好きだ
- 2 () どちらかといえば、好きだ
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、好きではない
- 5 () 好きではない

(裏面に続きます)

[13] 黒板に書かれたことなどを写し、ノートやプリントを完成させる学習は好きですか。(1つ回答)

- 1 () 好きだ
- 2 () どちらかといえば、好きだ
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、好きではない
- 5 () 好きではない

[14] 自分なりの意見をもったり解法等を見つけ出したりするよりも、先生が時間をかけて詳しく説明してくれることを聞いている学習は好きですか。(1つ回答)

- 1 () 好きだ
- 2 () どちらかといえば、好きだ
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、好きではない
- 5 () 好きではない

[15] 授業の中で「自分は考えている」と感じるのは、どんなときですか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 先生の説明を聞いているとき
- 2 () 黒板などに書かれたことをノートやプリントに書き写しているとき
- 3 () 復習などのために、既習の問題の類題を解いているとき
- 4 () 習ったことを参考にして、初めて見た問題を解いているとき
- 5 () 文章や図表などに示されている内容を読み取っているとき
- 6 () 自分の意見や考えなどを文章に書き表しているとき
- 7 () 与えられた課題についてグループで相談しているとき
- 8 () クラスやグループの中で発表しているとき
- 9 () その他
- 10 () 特になし

[16] 学校ではどのような授業をしてほしいですか。(1つだけ選んで回答)

- 1 () 新しい知識を教え、理解させてくれる授業
- 2 () 繰り返し訓練することで鍛えられる技能を習得させてくれる授業
- 3 () 学習内容について自分なりに考えたり、表現したりする力を育成してくれる授業
- 4 () 学習内容への興味や関心を高めてくれる授業
- 5 () 分からない

Ⅲ 家庭学習について

(ここでいう「家庭学習」とは、授業時間以外の学習です。自習室等での学習は含みますが、塾や予備校での学習は含みません。)

[17] 平日に、学校の授業以外1日平均どのくらいの時間、家庭学習をしますか。(1つ回答)

- 1 () 3時間30分以上
- 2 () 3時間程度 (2時間30分以上、3時間30分未満)
- 3 () 2時間程度 (1時間30分以上、2時間30分未満)
- 4 () 1時間程度 (30分以上、1時間30分未満)
- 5 () 30分未満
- 6 () 全くしない

[18] 休日に、1日平均どのくらいの時間、家庭学習をしますか。(1つ回答)

- 1 () 3時間30分以上
- 2 () 3時間程度 (2時間30分以上、3時間30分未満)
- 3 () 2時間程度 (1時間30分以上、2時間30分未満)
- 4 () 1時間程度 (30分以上、1時間30分未満)
- 5 () 30分未満
- 6 () 全くしない

[19] どんなときに家庭学習をしますか。(当てはまるものを全て回答)

- 1 () 宿題が出れば、宿題をする
- 2 () 予習や復習をする
- 3 () 試験があれば、それに備えて勉強する
- 4 () 興味や関心のあることについて、自分で調べたり確かめたりする
- 5 () 全くしない

[20] どんな方法で家庭学習をしますか。(当てはまるものを全て回答)

- 1 () 教科書を読む
- 2 () 教科書をノートに写す
- 3 () 教科書の分からない箇所をチェックする
- 4 () 参考書などを使って内容をまとめる
- 5 () 用語や問題の解き方を覚える
- 6 () 教科書や問題集の問いを解く
- 7 () ニュースなどで時事的な問題を見ておく
- 8 () 内容に関連する本や資料を探して、読んだり見たりする
- 9 () その他
- 10 () 全くしていない

[21] 自分にとって家庭学習が必要だと思いますか。(1つ回答)

- 1 () そう思う
- 2 () どちらかといえば、そう思う
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、そう思わない
- 5 () そう思わない

[22] 家庭学習をしないとすれば、その理由は何ですか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 勉強する気が起らない
- 2 () 時間がない
- 3 () 疲れてしまっていてできない
- 4 () 教科書などが手元にない
- 5 () その他
- 6 () 家庭学習をしているので問題はない

[23] 家庭学習について困っていることは何ですか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 勉強方法が分からない
- 2 () 勉強しても成果が表れない
- 3 () 質問できる人がいない
- 4 () 集中力が続かない
- 5 () 勉強を邪魔する誘惑が多い
- 6 () やるべき家庭学習が多くてやりきれない
- 7 () その他
- 8 () 特になし

ご協力ありがとうございました。

(参考資料 2)

授業改善に関する教員アンケート

教科()

以下の質問にお答えください。

- ・[1]、[6]、[13]、[19]、[20]の質問については、回答を具体的に記述してください。
- ・[2]～[5]、[7]～[12]、[14]～[18]の質問には、当てはまる選択肢のカッコ内に○印を記入してください。

[1]学校の授業改善の目標や教科会等で検討した結果を踏まえ、あなたの授業で生徒に付けたい学力とはどのような学力ですか。具体的に挙げてください。

[2]生徒に「授業が分かる」と感じさせるために効果的なのは、どのような指導だと思いますか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 新しい知識を覚えられるように指導する
- 2 () 授業で教えた問題をテストで解けるように指導する
- 3 () 学習内容を的確にまとめられるように指導する
- 4 () 友だちに口頭で説明させるように指導する
- 5 () 自分の考えを文章等で記述させるように指導する
- 6 () その他
- 7 () 特になし

[3]ご自身の授業は生徒に充実感を与えていると思いますか。(1つ回答)

- 1 () 充実感を与えている
- 2 () どちらかといえば、充実感を与えている
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、充実感を与えていない
- 5 () 充実感を与えていない

[4]生徒に充実感を与えるために、どのような指導を行っていますか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 教科書の内容についてよく分かるまで説明する
- 2 () 難しい問題の解き方を教える
- 3 () 課題を与え、グループで相談させる
- 4 () 文章や図表などに示されている内容を読み取らせる
- 5 () 生徒自身の意見や考えなどを文章で書かせる
- 6 () クラスやグループの中で発表させる
- 7 () その他
- 8 () 特になし

[5]現在求められている学力の育成に向けた授業改善は必要だと思いますか。(1つ回答)

- 1 () そう思う
- 2 () どちらかといえば、そう思う
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、そう思わない
- 5 () そう思わない

(平成 24 年 12 月)

[6] 学校や教科等で授業改善について検討した結果を踏まえ、現時点であなたが考える思考力・判断力・表現力等の育成に効果的だと考える工夫を具体的に挙げてください。

[7] 言語活動を取り入れた授業づくりを行っていますか。(1つ回答)

- 1 () 行っている
- 2 () どちらかといえば、行っている
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、行っていない
- 5 () 行っていない

[8] 文章や図表などから、どのようなことが読み取れるか、一人でじっくりと考えさせる学習を必要に応じて取り入れていますか。(1つ回答)

- 1 () 取り入れている
- 2 () どちらかといえば、取り入れている
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、取り入っていない
- 5 () 取り入っていない

[9] 生徒自身の意見や考えたことなどを文章や図表に書いて表現させる学習を必要に応じて取り入れていますか。(1つ回答)

- 1 () 取り入れている
- 2 () どちらかといえば、取り入れている
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、取り入っていない
- 5 () 取り入っていない

[10] グループで話し合わせ、学習内容の理解を深めさせていく学習を必要に応じて取り入れていますか。(1つ回答)

- 1 () 取り入れている
- 2 () どちらかといえば、取り入れている
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、取り入っていない
- 5 () 取り入っていない

[11] 生徒自身の意見やグループで話し合ったことを発表させて、いろいろな考えを学ばせる学習を必要に応じて取り入れていますか。(1つ回答)

- 1 () 取り入れている
- 2 () どちらかといえば、取り入れている
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、取り入っていない
- 5 () 取り入っていない

(裏面に続きます)

[12]授業中に「生徒の思考が活発だ」と感じるのは、生徒がどのような学習をしているときですか。(最大3つまで回答可)

- 1 () 先生の説明を聞いているとき
- 2 () 黒板などに書かれたことをノートやプリントに書き写しているとき
- 3 () 復習などのために、既習の問題の類題を解いているとき
- 4 () 習ったことを参考にして、初めて見た問題を解いているとき
- 5 () 文章や図表などに示されている内容を読み取っているとき
- 6 () 自分の意見や考えなどを文章に書き表しているとき
- 7 () 与えられた課題についてグループで相談しているとき
- 8 () クラスやグループの中で発表しているとき
- 9 () その他
- 10 () 特になし

[13]言語活動を取り入れた授業づくりを行う上で課題となることは何ですか。

[14]生徒にとって必要なのは、どのような授業だと思いますか。(1つだけ選んで回答)

- 1 () 新しい知識を教え、理解させてくれる授業
- 2 () 繰り返し訓練することで鍛えられる技能を習得させてくれる授業
- 3 () 学習内容について自分なりに考えたり、表現したりする力を育成してくれる授業
- 4 () 学習内容への興味や関心を高めてくれる授業
- 5 () 分からない

[15]2年間の授業改善の取組みを通じて、授業で目標とする生徒に付けたい学力について、より具体的にイメージできるようになりましたか。(1つ回答)

- 1 () イメージできるようになった
- 2 () どちらかといえば、イメージできるようになった
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、イメージできるようにならなかった
- 5 () イメージできるようにならなかった

[16]2年間の授業改善の取組みを通じて、生徒に付けたい学力と授業で扱う学習活動との関係が、より明確になりましたか。(1つ回答)

- 1 () 明確になった
- 2 () どちらかといえば、明確になった
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、明確にならなかった
- 5 () 明確にならなかった

[17] 2年間の授業改善の取組みを通じて、生徒に付けたい学力の実現状況を把握すること（学習評価※）について、その方法がより明確になりましたか。（1つ回答）

※学習評価とは、必ずしも「評定につなげる評価」だけでなく、「日々の授業の振り返りに役立つ評価」も含まれます。

- 1 () 明確になった
- 2 () どちらかといえば、明確になった
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、明確にならなかった
- 5 () 明確にならなかった

[18] 2年間の授業改善の取組みを通じて、学習評価の結果を踏まえた授業づくりをより一層意識するようになりましたか。（1つ回答）

- 1 () 意識するようになった
- 2 () どちらかといえば、意識するようになった
- 3 () どちらともいえない
- 4 () どちらかといえば、意識するようにならなかった
- 5 () 意識するようにならなかった

[19] 2年間の授業改善の取組みを通じて得られた成果を具体的に挙げてください。

[20] 2年間の授業改善の取組みを通じて明らかになった今後に向けた課題を具体的に挙げてください。

ご協力ありがとうございました。

※[15]～[20]は第2回調査の質問項目。第1回調査では、次の[15]を用いて調査を実施しました。

[15]今年度の授業改善全般を通して、課題となったことは何ですか。（記述式）

アンケート結果の分析の視点

この節では、前節で紹介したアンケート調査項目を使った分析方法を3例紹介します。なお、生徒アンケートと教員アンケートの調査項目番号に、それぞれ「s」と「t」を付けて両者を区別しています。

例) 生徒アンケートの6番目の項目 → [s 6]
教員アンケートの2番目の項目 → [t 2]

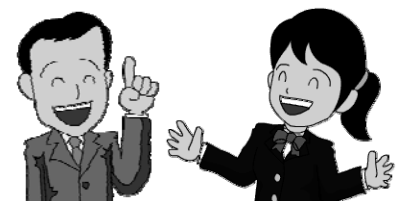
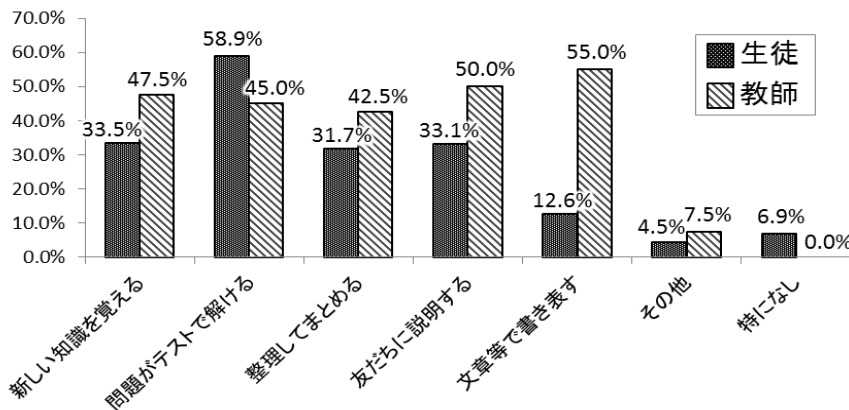
1 生徒・教員間における分析

比較調査項目を使って、生徒アンケートと教員アンケートの調査結果を比較し、生徒と教員の意識の差異を把握することができます。比較調査項目は次のとおりです。

授業が分かると思うとき	[s 6]	←→	[t 2]	授業が分かると感じさせる指導
授業は充実しているか	[s 7]	←→	[t 3]	授業で充実感を与えているか
授業で充実感を得るとき	[s 8]	←→	[t 4]	授業で充実感を与える指導
一人学習（読む）は好きか	[s 9]	←→	[t 8]	一人学習（読む）を行っているか
一人学習（書く）は好きか	[s 10]	←→	[t 9]	一人学習（書く）を行っているか
グループ学習・話し合い（話す・聞く）は好きか	[s 11]	←→	[t 10]	グループ学習・話し合い（話す・聞く）を行っているか
グループ学習・発表（話す・聞く）は好きか	[s 12]	←→	[t 11]	グループ学習・発表（話す・聞く）を行っているか
授業中に自分が思考している学習活動	[s 15]	←→	[t 12]	授業中に生徒が思考している学習活動
学校でしてほしい授業	[s 16]	←→	[t 14]	学校で生徒に必要な授業

例として、「授業が分かると思うとき（生徒）」と「授業が分かると感じさせる指導（教員）」のアンケート結果を比較してみましょう。

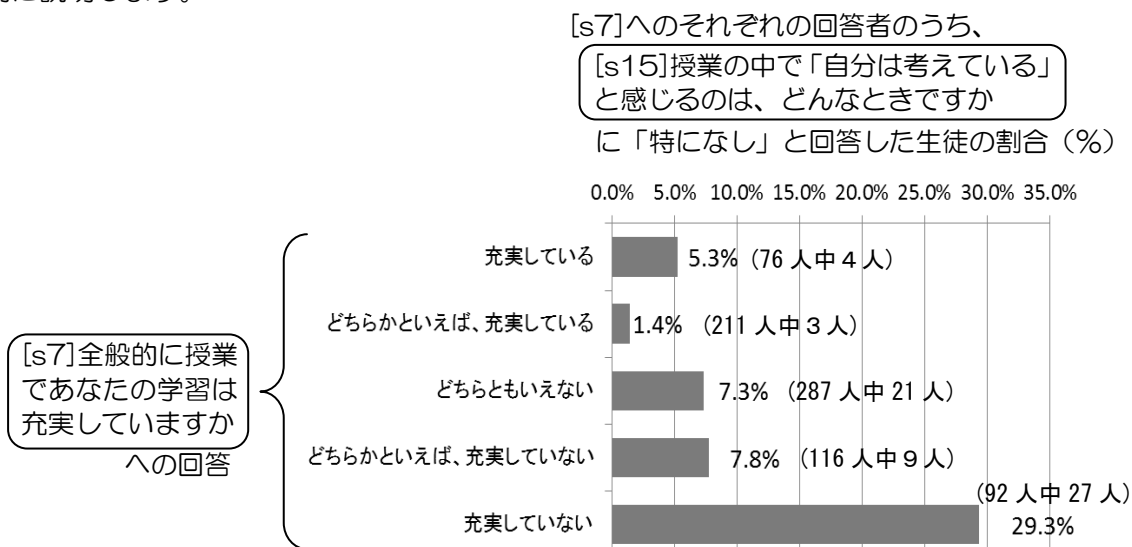
<p>[s 6] 授業が分かると思うのは、どんなときですか。 (最大3つまで回答可)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新しい知識を覚えることができたとき 2 授業で習った問題がテストで解けたとき 3 学習内容を自分なりに整理してまとめられたとき 4 友だちに的確に説明できたとき 5 自分の考えを文章などで的確に書き表すことができたとき 6 その他 7 特になし 	<p>[t 2] 生徒に「授業が分かる」と感じさせるために効果的なのは、どのような指導だと思いますか。(最大3つまで回答可)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新しい知識を覚えられるように指導する 2 授業で教えた問題をテストで解けるように指導する 3 学習内容を的確にまとめられるように指導する 4 友だちに口頭で説明させるように指導する 5 自分の考えを文章等で記述させるように指導する 6 その他 7 特になし
---	---



授業が分かるかという点について、教員が効果的だと考えている指導と生徒が実感する学習場面に差があることが分かります。こうした実態把握は、授業改善の方針の検討に役立ちます。

2 項目間における分析

生徒アンケートの調査結果において、ある生徒が複数の項目に対して、どのような組み合わせで回答したのかを分析することで、授業改善のヒントを導き出すことができます。実践校で得られた結果のうち、「授業での充実感」[s7]への回答と「授業中に考えていない」[s15-10]への回答の関係を例に説明します。



授業が充実していないという生徒は、授業中に「自分は考えている」と実感していない生徒の割合が極端に多い関係が導き出されました。このことから、生徒が考える活動を取り入れることによって、授業に充実感を与えるきっかけになるのではないかという仮説を導き出すことができます。

ほかには、以下のような項目間で分析を行うことが考えられます。

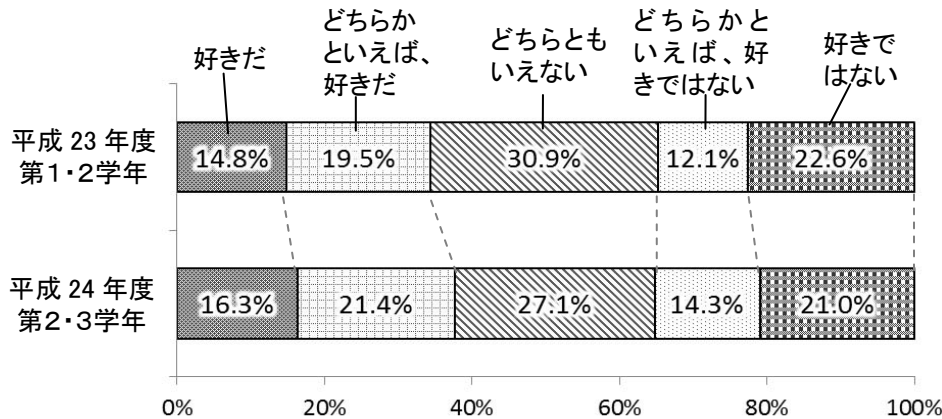
【勉強が好き】 [s1]	↔	[s15] 【言語活動で考えている実感】
【勉強が好き】 [s1] 【勉強は大切】 [s2] 【勉強は役立つ】 [s3]	↔	[s4] 【もっと知りたい】 [s7] 【授業が充実している】
【もっと知りたい】 [s4]	↔	[s5] 【授業が分かる】
【授業での充実感】 [s7]	↔	[s15] 【言語活動で考えている実感】 [s16] 【求めている授業、思考力・判断力・表現力】
一人学習（読む）は好きか [s9]	↔	[s8-3] 一人学習（読む）で充実感
一人学習（書く）は好きか [s10]	↔	[s8-4] 一人学習（書く）で充実感
グループ学習・話し合い（話す・聞く）は好きか [s11]	↔	[s8-5] グループ学習・話し合い（話す・聞く）で充実感
グループ学習・発表（話す・聞く）は好きか [s12]	↔	[s8-6] グループ学習・発表（話す・聞く）で充実感
一人学習（読む）で考えている実感 [s15-5]	↔	[s8-3] 一人学習（読む）で充実感
一人学習（書く）で考えている実感 [s15-6]	↔	[s8-4] 一人学習（書く）で充実感
グループ学習・話し合い（話す・聞く）で考えている実感 [s15-7]	↔	[s8-5] グループ学習・話し合い（話す・聞く）で充実感
グループ学習・発表（話す・聞く）で考えている実感 [s15-8]	↔	[s8-6] グループ学習・発表（話す・聞く）で充実感
家庭学習 【取組状況】 [s17] [s18]	↔	[s19] 【動機】 [s20] 【内容】 [s21] 【必要性】 [s23] 【困っていること】
【主体的な家庭学習】 [s19-4] 【発展的な家庭学習】 [s20-7, 8]	↔	[s4] 【もっと知りたい気持ち】

3 複数回の調査による分析

一定期間後にアンケートを実施することにより、時間経過後の変容を把握することができます。また、毎年、一定の時期に実施することで、その年の生徒の傾向を把握することにも役立ちます。

例1) 1年間の生徒の変容を把握

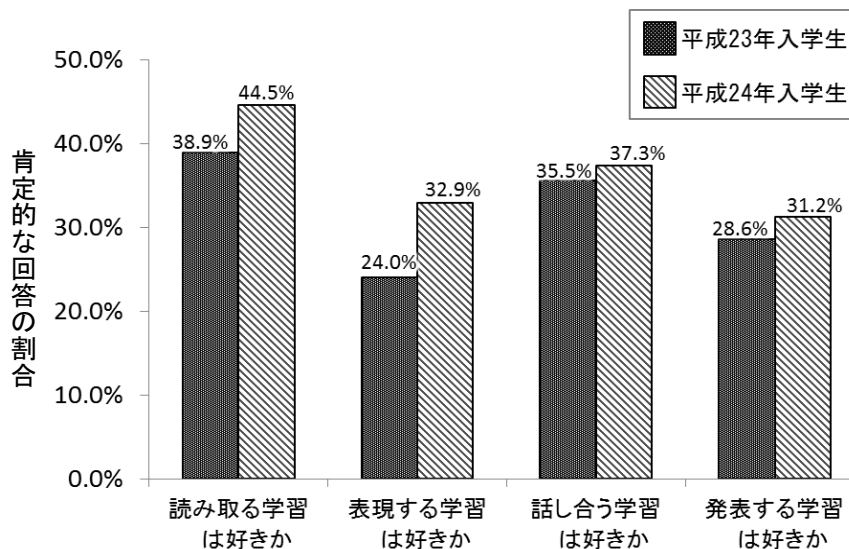
[s11]グループで話し合いながら学習内容の理解を深めていく学習は好きですか。(1つ回答)



例2) 各年度の生徒の傾向を把握

- [s9]文章や図表などから、どのようなことが読み取れるか、一人でじっくりと考える学習は好きですか。
- [s10]自分の意見や考えたことなどを文章や図表に書いて表現する学習は好きですか。
- [s11]グループで話し合いながら学習内容の理解を深めていく学習は好きですか。
- [s12]自分の意見やグループで話し合ったことを発表することで、いろいろな考えを学ぶ学習は好きですか。

※いずれも(1つ回答)

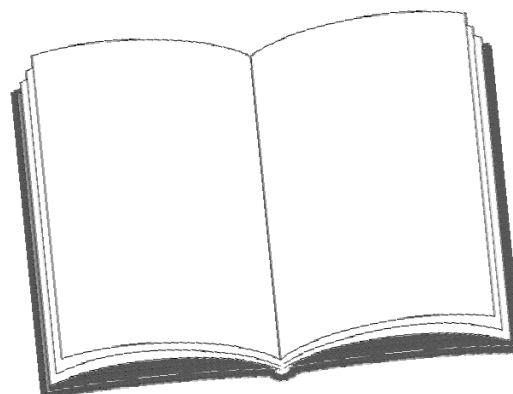


例1より、1年間を経過して生徒が、話し合いながら理解を深めていく学習に肯定的な回答が増えていることが分かります。また、例2からは生徒によって好きと感じる学習活動に違いがあることが分かり、生徒全体の傾向をつかむことができます。こうした分析結果の活用は、どのような授業づくりを目指すべきか検討する際の有効な資料となります。

引用・参考文献

1 引用文献

本冊子のページ	文献名	文献のページ
2 ページ	文部科学省ホームページ「言語活動を通じた授業改善のイメージ例」 http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2012/07/04/1322425_02.pdf	
3 ページ	中央教育審議会 2010 「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」	p. 14
4 ページ	日本システム開発研究所 2010 「学習指導と学習評価に対する意識調査 報告書」	p. 22
6 ページ	神奈川県教育委員会 2012 「組織的な授業改善に向けて～高等学校における授業研究の取組～」	p. 1, p. 6
20 ページ	神奈川県教育委員会 2012 「組織的な授業改善に向けて～高等学校における授業研究の取組～」	p. 6
26 ページ	七里ガ浜高等学校 2012 「平成 24 年度学校要覧」	p. 5, p. 6
26 ページ	七里ガ浜高等学校 2012 「平成 25 年度入学生用 学校案内」	
69 ページ	神奈川県教育委員会 2013 「学習評価の手引き」	p. 2
69 ページ	日本システム開発研究所 2010 「学習指導と学習評価に対する意識調査 報告書」	p. 65



2 参考文献

本冊子のページ	文献名	文献のページ
1 ページ	中央教育審議会 2012 「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」	p. 1
1 ページ	中央教育審議会 2008 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）」	p. 10
1 ページ	文部科学省 2012 「言語活動の充実に関する指導事例集【高等学校版】」	pp. 4-5
2 ページ	文部科学省 2012 「言語活動の充実に関する指導事例集【高等学校版】」	pp. 7-9
3 ページ	中央教育審議会 2010 「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」	p. 3, p. 14
4 ページ	文部科学省 2001 「小学校児童指導要録，中学校生徒指導要録，高等学校生徒指導要録，中等教育学校生徒指導要録並びに盲学校，聾学校及び養護学校の小学部児童指導要録，中学部生徒指導要録及び高等部生徒指導要録の改善等について（通知）」	
4 ページ	国立教育政策研究所 2011 「高等学校における学習の評価の実態把握と改善に関する研究 研究成果報告書」	pp. 97-98
5 ページ	中央教育審議会 2010 「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」	p. 11, p. 19
6 ページ	神奈川県教育委員会 2007 「教職員人材確保・育成基本計画」	
6 ページ	神奈川県教育委員会 2011 「県立学校における授業研究推進のための校内研修の実施について（通知）」	
6 ページ	神奈川県教育委員会 2011 「県立学校における校内授業研究の進め方 手引き・参考資料」	
7 ページ	神奈川県立総合教育センター 2012 「平成 23 年度『生徒による授業評価』結果の調査及び取組状況等の調査集計分析のまとめ」	
7 ページ	神奈川県教育委員会 2011 「平成 23 年度神奈川県立高等学校学習状況調査報告書」	
8 ページ	文部科学省 2012 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【高等学校版】」 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1322283.htm	
8 ページ	神奈川県立総合教育センター 2012 「〈高等学校〉言語活動の充実を図る実践事例集」	
8 ページ	神奈川県立総合教育センター 2013 「高等学校における言語活動の充実に向けて - 言語活動を位置付けた年間指導計画例の作成 -」	
12 ページ	中央教育審議会 2010 「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」	p. 14, pp. 16-17, p. 18, p. 19
13 ページ	国立教育政策研究所 2012 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校）」	p. 17
13 ページ	神奈川県立総合教育センター 2013 「単元（題材）による授業構想」リーフレット	
15 ページ	長谷川康男 2011 「活用する力を育てる学習活動事典」東洋館出版社	pp. 39-43
21 ページ	国立教育政策研究所 2012 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校）」	
21 ページ	神奈川県教育委員会 2013 「学習評価の手引き」	
25 ページ	文部科学省 2010 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」	別紙 6
34 ページ	神奈川県立総合教育センター 2013 「高等学校初任者のための授業づくりガイド 平成 25 年度版」	

『〈高等学校〉「育てたい力・指導・評価」を意識して取り組む授業改善ガイドブック』の
作成関係者

〈調査研究協力校〉

学 校 名	備 考
神奈川県立七里ガ浜高等学校	平成 23、24 年度

〈調査研究協力校プロジェクトチームメンバー〉

所 属	職 名	氏 名	備 考
神奈川県立七里ガ浜高等学校	副校長	阿部 直彦	平成 23、24 年度
神奈川県立七里ガ浜高等学校	総括教諭	志村 祐一	平成 23、24 年度
神奈川県立七里ガ浜高等学校	教諭	森 清隆	平成 23、24 年度
神奈川県立七里ガ浜高等学校	総括教諭	藤原 直樹	平成 23 年度
神奈川県立七里ガ浜高等学校	教諭・総括教諭	木下 洋	平成 23、24 年度
神奈川県立七里ガ浜高等学校	教諭	玉井 敏晴	平成 24 年度
神奈川県立七里ガ浜高等学校	教諭	石井 秀典	平成 23、24 年度
神奈川県立七里ガ浜高等学校	教諭	長谷部龍文	平成 23、24 年度

〈神奈川県立総合教育センター〉

所 属	職 名	氏 名	備 考
教育課題研究課	指導主事	神橋 憲治	平成 23、24 年度
教育課題研究課	指導主事	逸見 直子	平成 23、24 年度
教育課題研究課	教育指導専門員	倉崎 眞吾	平成 23、24 年度
教育課題研究課	教育指導専門員	藤井 幹夫	平成 23、24 年度
教職キャリア課	指導主事	松澤 直子	平成 23、24 年度
教職キャリア課	指導主事	藤沼 総輔	平成 23 年度
教職キャリア課	指導主事	山下 創	平成 24 年度
教育課題研究課	指導主事	橋本 雅史	平成 23、24 年度

※

※ 教育局総務室副主幹

〈高等学校〉「育てたい力・指導・評価」を意識して取り組む
授業改善ガイドブック

発 行 平成 25 年 4 月
発行所 神奈川県立総合教育センター
〒251-0871 藤沢市善行 7-1-1
電話 (0466)81-1659 (教育課題研究課 直通)
ホームページ <http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/>

※本冊子については、ホームページで閲覧できます。

再生紙を使用しています



神奈川県立総合教育センター

善行庁舎
〒251-0871 藤沢市善行 7-1-1
TEL (0466) 81-0188
FAX (0466) 84-2040

ホームページ <http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/>

亀井野庁舎（教育相談センター）
〒252-0813 藤沢市亀井野 2547-4
TEL (0466) 81-8521
FAX (0466) 83-4500

